

令和8年2月8日執行  
福島県第4区 衆議院小選挙区選出議員選挙選挙公報  
福島県選挙管理委員会

浜通りから日本を強く豊かに！

UPGRADE HAMADORI

アップグレード浜通り

責任を果たす！

- 安全・着実・確実な福島第一原発廃炉の実現
- ALPS処理水海洋放出の完遂と最先端水産業の確立
- 除去土壌の再生利用と県外最終処分への国民理解の醸成
- 真に必要な第三期復興・創生期間の財源確保と広域的活用

暮らしを守る！

- 物価高対策と強い経済による強い外交・安全保障の確立
- 各種災害対策と実効性ある防災庁設置の推進
- 責任ある現実的エネルギー政策と技術開発の推進
- 持続可能な年金・医療・介護制度、農林水産業の構築

世界に貢献する！

- イノベーションコスト構想とF-REI、地元の連携推進
- CO2利活用やロボット・宇宙産業等、地球的課題に挑戦
- 震災・原発事故の経験と教訓を活かした国際貢献
- 世界で活躍する幅広い人材の育成・定着と招聘

坂本竜太郎プロフィール

略歴

- 1980年3月生まれ(おひつじ座)
- いわき市立植田小・植田中学校卒業
- 福島県立磐城高等学校卒業(高50回)
- 中央大学法学部卒業(国際政治ゼミ長)
- 衆議院議員(父・坂本剛二)秘書
- いわき市議会議員(2009年・1期)
- 福島県議会議員(2015年・2期)
- 衆議院議員(2024年・1期)
- 福島県少子化対策推進協議会長
- 福島県ライフル射撃協会顧問
- 福島県ラグビーフットボール協会副会長
- いわき市ラグビーフットボール協会会長
- 公益社団法人いわき青年会議所特別会員

衆議院議員初当選以来、経済産業、環境、復興、原子力、政治改革の各委員会や予算委員会等計11回質問に立つ。また、党遊説局長代理をはじめ青年局長、東日本大震災復興加速化本部長事務局長ほか20を超える党の役職を担う。

自民党公認



坂本竜太郎  
さかもとりゅうたろう

『比例は中道へ』

プロフィール

- ・会計事務所勤務
- ・衆議院議員公設第一秘書
- ・前富岡町商工会理事
- ・同青年部部長
- ・元会社代表
- ・前衆議院議員

SNSで発信中！是非フォローをお願いします。



斎藤ゆうきの政策の柱

～生活者ファースト～

◎食料品消費税ゼロ！今年秋からスタートを

◎人への投資・テクノロジー投資で賃上げ加速日本を成長軌道へ！「未来投資」で供給力向上

◎「賢い財政」で「内閣インフレ」から家計と中小企業を守る

◎ライフプランを応援！「奨学金返済減税」「NISA減税」

◎「週休3日制」など働き方の選択肢を増やし、「いふん時間」創出

◎女性の賃金アップへ女性の正社員比率の公表義務付けを「共働き・子育て」推進

◎「高額療養費」負担上限額の引き上げ抑制、障害児福祉の所得制限撤廃

◎農林水産業、地域資源、地域医療への支援、郵便局の利活用など地域の活力と魅力の向上

◎インボイス廃止で中小企業やフリーランスの方を応援

◎防災・減災・国土強靱化の推進(東日本大震災、能登半島地震などへの復興支援)

医療、介護、障がい福祉、子育ては国が責任を持つシステムへ

皆様より議席をお預かりし1年4か月が経過しました。国会では厚生労働委員会、東日本大震災復興・防災・災害に関する特別委員会、原子力問題調査特別委員会、環境委員会に所属し、「物価高」に対応し、国民全体の暮らしを少しでも良くすることを第一に活動してまいりました。いまま私たちが目の前にある問題に立ち向かっています。賃金と物価の深刻なギャップの克服。本党が必要とする人への住宅支援の拡充。持続可能な地域医療、介護、障がい福祉、子育て体制。少子高齢化と地方の疲弊、世代間と地域間格差の是正。安全な環境の急速な変化への対応。度重なる災害や社会インフラの老朽化への取り組み。突然の衆議院解散により、本来であれば進められたはずの多くの課題の解決が置き去りにされました。生活者ファースト。個人の尊厳を守る。『目の前の国民が本当に困っていること何かが、これまでも皆様と一緒に取り組んできた課題。子育て支援、医療・介護、障がい福祉の持続可能性、中小企業と地場産業の再生、災害に強い地域づくり、教育の機会均等』を国政のテーマに引き続き、厳しくご指導をいただき、忌憚のないご意見をいただきます。心よりお願い申し上げます。



斎藤ゆうき  
さいとう ゆき  
中道改革連合 46歳

35歳医師、福島の未来のために立ち上がります！

プロフィール

●1990年(平成2年)京都府京都市出身。京都府立医科大学卒業。カンボジアにて医療ボランティアに参加後、いわき市に移住。2023年いわきの医療課題解決に向け、県議会議員へ。その後、浜通りの医療体制強化を訴え、いわきの救急車のたらい回しは減少し、県立医大からの医師派遣も増員見込。国にさらなる医療体制を求め、国政に挑戦

福島県議会議員中の医療課題解決への取り組み成果

- いわき医療圏の救急車のたらい回しの改善(前年735件から242件)。
- 県立医科大学からの浜通り医療圏への医師派遣の増員方針(各新聞社にて報道)。

※県議会議員中の議員報酬の1000万円以上を能登半島地震の義援金等として届けました。

浜通りの声を国政へ！！

福島の浜通りの復興・再生は今後も日本において最重要課題です。復興のゴールというものは人それぞれ異なり、いろいろな意見・考えがあります。私はまだ復興のゴールは何か明確に答えられません。だからこそ、浜通りを思う住民の声に真摯に耳を傾け、復興とは何なのか考え続けていきます。浜通りの活気が戻ることや、そこで暮らす人々が笑顔でいることは、日本中、いや世界中の人々を元気にすると信じています。福島の復興なくして日本の再生はありません。「復興と廃炉」にむけ、作業員の安全第1にした着実な廃炉や風評被害対策、様々な課題に対して、あらゆる政策手段を投入し被災地の復興と産業発展に向けて全力で取り組みます。

・対決より解決

・福島の復興

・浜通りの医療体制強化

浜通りの医療圏は、医師不足が顕著であり、救急搬送困難事例も県内の他と比べても、多いという課題があります。医師の高齢化も全国水準より高く、今後誰もが安心して暮らしていくためには医療体制強化が必須です。県外避難の帰還の判断や移住する方の悩みも医療が充実しているかどうかです。これまで県議として浜通りの医療体制強化に取り組む救急車のたらい回しの改善など一定の成果を出しました。次は国会議員として国と県と市に訴えかけ医療から復興を加速していきます。浜通りの医療体制強化に対して、国に強く訴え、医療から復興を加速していきます。長年地域医療を経験してきた医師だからこそ、解決できる手段を提案します。



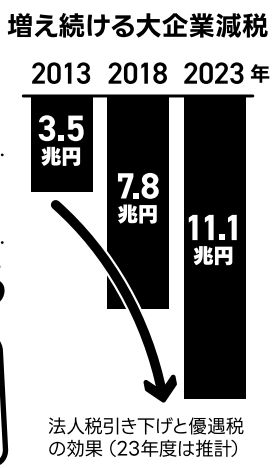
山口やまぐち  
山太  
医師・35歳

いますぐ「原発ゼロ」で唯一ブレない、日本共産党を大きく

物価対策を！

- 年12万円の減税効果 消費税5%に
- 中小企業の直接支援で 最賃時給1,500円以上
- 大企業への減税バラマキやめて 財源つくる

「もっと自由な社会へ」  
長時間労働、格差の拡大、気候危機・・・資本主義の矛盾を乗り越え、搾取をなくし、誰もが「自由な時間」をもてる社会へそれが日本共産党がめざす社会主義・共産主義の社会です。



- 原発「最大限活用」撤回 地域が主役の復興・再エネ推進
- ジェンダー平等 男女の賃金格差なくす 選択的夫婦別姓、同性婚
- 医療・介護守る 緊急に国費投入し崩壊ふせぐ 働く人の待遇改善を
- 自立した外交へ 対等にモノが言える日米関係 日中関係の前進を打開

衆議院選挙は2回投票します 比例代表は日本共産党と政党名で投票を 候補者名は無効です。



プロフィール●1979年10月30日生まれ、46歳。介護士を経て福島県民医連などに勤務。2013年より党県議団事務局長。2016年参院選比例、2017年・2021年衆院旧福島5区、2024年衆院福島4区に立候補(21年は野党統一候補)。家族は妻と子ども3人。



日本共産党  
くまがい  
智とも



# 第51回衆議院議員総選挙・第27回最高裁判所裁判官国民審査 投票日2月8日（日）

選挙に関する情報はこちらのサイトから 候補者・政党等の情報がご覧になれます。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/62010a/>

福島県選管

検索

投票日に投票できない方は、

**期日前投票制度**又は**不在者投票制度**を利用しましょう！！

**避難されている方は、避難先の市区町村で不在者投票ができます。**

投票は  
18歳から  
行えます



## 期日前投票制度・不在者投票制度

■期 間／ 衆議院議員総選挙 1月28日（水）～2月7日（土）

国 民 審 査 2月 1日（日）～2月7日（土）

衆議院議員総選挙と国民審査の期日前投票・不在者投票開始時期が異なるため、2月1日（日）以降でないと、両方の投票を一度に行えませんので、注意してください。

■時 間／ 8：30～20：00（※一部、異なる場合があります）

期日前投票所によっては、投票できる期間や投票時間が異なる場合がありますので、各市町村選挙管理委員会にお問い合わせください。福島県選挙管理委員会のホームページに県内市町村の期日前投票所及び投票時間を掲載しております。

■場 所／ 期日前投票：各市町村選挙管理委員会が定める場所

不在者投票：滞在地（避難先）の市区町村選挙管理委員会

■手 続／ 期日前投票：期日前投票所に行って、直接投票箱に投票します

不在者投票：以下の手続により投票してください

### 1 投票用紙等を請求する

「不在者投票請求書・宣誓書」に必要事項を記入し、住民票のある市町村の選挙管理委員会へ持参又は郵送してください（メールやFAXでの請求はできません）。

※様式は、福島県選挙管理委員会ホームページからもダウンロードできます。

### 2 投票用紙等を受け取る

住民票のある市町村の選挙管理委員会から、郵送されてきた封筒（投票用紙、投票用封筒（内封筒と外封筒）、不在者投票証明書）を受け取ってください。

【注意】不在者投票証明書の開封や投票用紙への事前記入は絶対にしないでください。投票ができなくなります。

### 3 滞在地（避難先）の市区町村で投票する

受け取った封筒を持参して滞在地（避難先）の市区町村選挙管理委員会に投票してください。

滞在地（避難先）の市区町村から住民票のある市町村に投票済の投票用紙を送る必要があるため、余裕を持って早めの投票をお願いします。

## 期日前投票はこんなときにできます

### 仕事、学業、本人又は親族の結婚式等の場合

※自宅で商店等を営んでる方も期日前投票ができます。

※結婚式の仲人や司会、あるいは葬式で手伝うことになっている方も期日前投票ができます。



### 投票区の区域外に出かけたりする場合

※家族旅行やショッピングに出かける方も期日前投票ができます。



### 病気、けが、出産等のため歩行ができない場合



### 引越し等をして他の市町村に住んでいる場合



期日前・不在者投票の詳細については、福島県選挙管理委員会（024-521-7062）又は最寄りの各市区町村選挙管理委員会にお問い合わせください。